

全鉄連流通動態調査結果表平成25年5月分

(25.6.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		4月実績	前月比%	5月実績	前月比%	5月実績	前月比%	5月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	11,941	93.5	64,885	108.0	65,036	106.8	11,790	98.7	
	大 阪	6,417	93.8	27,187	106.1	27,103	104.0	6,501	101.3	
	愛 知	7,895	95.4	2,621	95.3	3,000	95.8	7,516	95.4	
	計	26,253	94.1	94,694	107.1	95,139	105.6	25,807	98.3	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	23,957	97.6	10,367	105.6	9,917	95.3	24,407	101.9
		大 阪	15,823	103.9	11,011	104.4	9,541	95.8	17,293	109.3
		愛 知	11,112	92.0	6,659	126.1	5,819	93.2	11,952	107.6
		計	50,892	98.1	28,037	109.3	25,277	95.0	53,652	105.4
	溝 形 鋼	東 京	17,491	94.9	6,463	117.6	7,114	110.6	16,840	96.3
		大 阪	11,734	99.5	6,580	101.3	5,991	91.4	12,323	105.0
		愛 知	7,665	91.6	4,470	122.1	4,494	103.1	7,641	99.7
		計	36,890	95.6	17,513	111.9	17,599	101.5	36,804	99.8
	H 形 鋼	東 京	23,785	99.7	17,781	103.2	16,794	97.1	24,772	104.1
		大 阪	42,449	99.8	28,902	102.9	26,997	95.8	44,354	104.5
		愛 知	23,365	97.8	13,408	118.1	12,866	108.2	23,907	102.3
		計	89,599	99.2	60,091	106.1	56,657	98.8	93,033	103.8
合 計		177,381	98.2	105,641	107.8	99,533	98.3	183,489	103.4	
コ ラ ム	東 京	10,131	96.9	2,140	103.0	2,743	114.1	9,528	94.0	
	大 阪	9,068	110.0	3,685	64.7	4,034	82.9	8,719	96.2	
	愛 知	2,885	99.0	2,091	107.5	2,112	107.0	2,864	99.3	
	計	22,084	102.2	7,916	81.5	8,889	96.1	21,111	95.6	
軽 量 C 形 鋼	東 京	4,060	105.6	2,484	88.6	2,430	93.9	4,114	101.3	
	大 阪	3,732	103.6	1,967	92.2	1,950	97.2	3,749	100.5	
	愛 知	2,371	94.3	1,046	95.2	1,202	96.9	2,215	93.4	
	計	10,163	102.0	5,497	91.1	5,582	95.7	10,078	99.2	
総 計		235,881	98.2	213,747	105.7	209,143	101.3	240,485	102.0	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 34、大阪 22、愛知 15、合計 71社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。